

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【公表番号】特表2016-500251(P2016-500251A)

【公表日】平成28年1月12日(2016.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-002

【出願番号】特願2015-545522(P2015-545522)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	16/46	
C 0 7 K	16/28	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	Y

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月28日(2016.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

癌または感染性物質により生じた疾患に罹患した対象のT細胞上の免疫調節標的と特異的に結合して該標的の活性を変化させ、癌細胞または感染性物質に対する内因性免疫応答を増強するヒトIgG抗体の抗腫瘍効果を増強、最適化、または最大にする方法であって、Fc領域のFc-I、Fc-IIa、またはFc-IIIaレセプターに対する結合を増強するように該抗体のFc領域を選択、設計、または修飾することを含み、ここで該免疫調節標的がCTLA-4、TIM-1、またはOX40である、方法。

【請求項2】

Fc-I、Fc-IIa、またはFc-IIIaレセプターに対するヒトIgG抗体の結合の増強が、腫瘍部位における調節性T細胞(T_{reg})の減少を仲介する、請求項1記載の方法。

【請求項3】

Fc-I、Fc-IIa、またはFc-IIIaレセプターに対するヒトIgG抗体の結合の増強が腫瘍部位のエフェクターティー細胞(T_{eff})の(a)減少を仲介しないかまたは(b)増加を仲介する、請求項1記載の方法。

【請求項4】

該標的が、腫瘍部位のT_{reg}上で腫瘍部位のT_{eff}より高レベルに発現する、

請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

該免疫調節標的が C T L A - 4 である、請求項1記載の方法。

【請求項 6】

該抗体の F c 領域が非フコシル化されている、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の方法で作製された、F c 融合タンパク質。

【請求項 8】

癌または感染性物質により生じた疾患に罹患した対象の内因性免疫応答を増強することにより該対象を治療することにおける使用のための、請求項 7 に記載の F c 融合タンパク

。

【請求項 9】

対象の癌または感染性物質により生じる疾患を治療するためのキットであって、

(a) 対象の癌細胞または感染性物質に対する内因性免疫応答を増強する能力の増大をもたらす用量の請求項 7 記載の F c 融合タンパク質、および

(b) 使用のための取扱説明書

を含むキット。